

**平成27年度
決算の概要について
(一般会計・特別会計)**



舞鶴市

目 次

項 目	ページ
◇ 平成27年度決算の概要について(一般会計・特別会計)	
1 平成27年度の財政運営	1
2 一般会計の決算状況	2
① 決算規模	2
(1) 決算収支	2
(2) 歳入の決算状況	3
(3) 歳出(目的別)の決算状況	7
(4) 歳出(性質別)の決算状況	11
② 基金残高の状況	14
③ 市債残高の状況	14
3 特別会計の決算状況	15
① 国民健康保険事業会計	15
② 簡易水道事業会計	15
③ 土地建物造成事業会計	16
④ 貯木事業会計	16
⑤ 下水道事業会計	17
⑥ 駐車場事業会計	17
⑦ 介護保険事業会計(保険事業勘定)	18
// (介護サービス事業勘定)	18
⑧ 後期高齢者医療事業会計	19
4 主要財政指標等の推移(平成23年度～27年度)	20
5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況	21

1 平成27年度の財政運営

平成27年度は、「交流人口300万人・経済人口10万人都市・舞鶴」を政策目標とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を新たに策定し、地域が有する魅力・特性を最大限に活かし、豊かな自然の中で心豊かに暮らすために必要な、子育てしやすい環境の整備や都会並みの質の高い教育、医療の充実など、数多くの事業に取り組んだ結果、歳出総額は348億8,282万円となりました。

一方歳入では、固定資産税をはじめとする市税が減少となったものの、地方交付税や地方消費税交付金の増加に加え、緊急経済対策として創設された地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金が新たに交付されたことなどにより、財政調整積立金の取り崩しを行わずに歳入総額352億7,066万円を確保しました。この結果、歳入歳出の差引残額は3億8,784万円となり、この額から「翌年度に繰り越すべき財源」2億4,682万円を差し引いた「実質収支額」は1億4,102万円となりました。

また、特別会計においても、国民健康保険事業会計をはじめとする全8会計で黒字決算となりました。

これらの結果、一般会計の基金残高は、引揚記念館整備事業への電源立地地域対策基金の活用などにより、前年度から1億752万円減少し94億7,817万円となり、特別会計では、介護保険介護給付費準備基金の増加などにより、1億9,239万円増加し39億6,933万円となりました。

一方、市債残高は、一般会計で、前年度から4億2,831万円増加し359億195万円となり、特別会計では、3億2,317万円増加し309億8,920万円となりました。

※本資料の各数値は、単位未満四捨五入を基本に処理を行っております。

【参考】 平成27年度各会計決算状況

(単位:千円)

会計名	歳入 (A)	伸率	歳出 (B)	伸率	歳入歳出差引 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C)-(D)
一般会計	35,270,658	-7.1%	34,882,816	-7.5%	387,842	246,820	141,022
特別会計	25,276,941	7.0%	24,994,474	8.7%	282,467	2,537	279,930
国民健康保険事業会計	10,536,844	13.8%	10,487,388	14.9%	49,456	-	49,456
簡易水道事業会計	735,127	13.3%	719,240	12.4%	15,887	2,487	13,400
土地建物造成事業会計	37,901	-1.5%	2,837	-25.5%	35,064	-	35,064
貯木事業会計	199	-58.1%	199	-58.1%	0	-	0
下水道事業会計	4,888,143	6.0%	4,882,593	6.0%	5,550	50	5,500
駐車場事業会計	87,373	29.7%	28,741	-2.5%	58,632	-	58,632
介護保険事業会計	7,881,029	0.2%	7,769,536	4.0%	111,493	-	111,493
〔保険事業勘定〕	7,873,372	0.2%	7,763,649	4.0%	109,723	-	109,723
〔介護サービス事業勘定〕	7,657	3.3%	5,887	2.2%	1,770	-	1,770
後期高齢者医療事業会計	1,110,325	-0.9%	1,103,940	-1.0%	6,385	-	6,385
総計	60,547,599	-1.7%	59,877,290	-1.3%	670,309	249,357	420,952

一般会計 昭和50年度以降連続黒字決算

特別会計 全ての会計(8会計)で黒字決算

※特別会計の計及び総計については、会計毎の端数処理により合致しない場合があります。

2 一般会計の決算状況

① 決算規模

(1) 決算収支

【前年度比較】

	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	35,270,658	37,982,338	△ 2,711,680	△ 7.1	36,645,163
歳出総額 b	34,882,816	37,697,135	△ 2,814,319	△ 7.5	36,048,697
歳入歳出差引 c = a - b	387,842	285,203	102,639	36.0	596,466
翌年度に繰り 越すべき財源 d	246,820	181,812	65,008	35.8	301,586
実質収支 e = c - d	141,022	103,391	37,631	36.4	294,880

※昭和50年度以降連続黒字

27年度のターゲットイヤーに大きく飛躍するための事業展開を26年度で積極的に行ったことに伴い、27年度決算は、歳入・歳出ともに前年度比で大幅な減少となりました。

歳出面では、国の緊急経済対策による地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業のほか、引揚記念館や三宅団地整備等の事業推進に取り組んだものの、前年度比で28億1,432万円の減少となりました。

一方、歳入面も、歳出の縮減に対応して、建設事業に充当した市債が13億4,831万円、財政調整積立金など基金からの繰入金で20億2,360万円の減少となりました。また、一般財源では、地方交付税が2億1,495万円、地方消費税交付金が6億7,915万円の増加となったものの、市税が4億1,395万円、前年度からの繰越金が3億1,126万円それぞれ減少となり、歳入総額では27億1,168万円の減少となりました。

また、26年度と比べ、翌年度に繰り越すべき財源が6,501万円、実質収支が3,763万円それぞれ増額となっています。

【予算・決算比較】

	平成27年度 決算額 A	平成27年度 予算額 D	差 引 E = D - A	比率 A/D
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	35,270,658	37,633,090	2,362,432	93.7
歳出総額 b	34,882,816	37,633,090	2,750,274	92.7
歳入歳出差引 c = a - b	387,842			

	平成26年度 決算額 B	平成26年度 予算額 D'	差 引 E' = D' - B	比率 B/D'
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	37,982,338	40,102,113	2,119,775	94.7
歳出総額 b	37,697,135	40,102,113	2,404,978	94.0
歳入歳出差引 c = a - b	285,203			

27年度における歳入予算に対する執行率は、93.7%と前年度に比べて△1.0%、また、歳出予算の執行率についても92.7%（対前年度比△1.3%）となり、いずれも前年度を下回っていますが、これは翌年度において執行する繰越明許費が前年度より増加したことに伴うものです。

(2) 歳入の決算状況

科目	平成27年度 決算額 A 千円	平成26年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C/B %	※歳入 構成比 %
歳入総額	35,270,658	37,982,338	△ 2,711,680	△ 7.1	

平成27年度は、市民税や固定資産税等の減少により市税が前年度比 4億 1,395万円の減となったものの、地方交付税や地方消費税交付金の増などにより一般財源である第1款 市税から第12款 交通安全対策特別交付金及び臨時財政対策債の合計額は、225億2,751万円となり、前年度比 4億7,765万円の増となりました。

また、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金や社会資本整備総合交付金等により国庫支出金が5億7,407万円の増加となる一方、26年度に施設整備等の財源として活用した地域の元気臨時交付金基金や、財政調整積立金等の基金からの繰入金で20億2,360万円、建設事業に充当した市債が13億4,831万円、このほか繰越金が3億1,126万円、諸収入で5,428万円、それぞれ減少しました。

1 市 税	12,531,648	12,945,598	△ 413,950	△ 3.2	35.5
--------------	-------------------	-------------------	------------------	--------------	-------------

【主な増減事由】

市民税（個人）	60,365	1.6	11.0
市民税（法人）	△ 32,681	△ 5.7	1.5
固定資産税（土地・家屋・償却資産）	△ 427,823	△ 5.6	20.3
市たばこ税	△ 19,784	△ 2.9	1.9

2 地方譲与税	301,134	288,177	12,957	4.5	0.9
----------------	----------------	----------------	---------------	------------	------------

3 利子割交付金	27,483	29,926	△ 2,443	△ 8.2	0.1
-----------------	---------------	---------------	----------------	--------------	------------

4 配当割交付金	81,511	100,547	△ 19,036	△ 18.9	0.2
-----------------	---------------	----------------	-----------------	---------------	------------

5 株式等譲渡所得割交付金	78,905	56,759	22,146	39.0	0.2
----------------------	---------------	---------------	---------------	-------------	------------

6 地方消費税交付金	1,733,176	1,054,023	679,153	64.4	4.9
-------------------	------------------	------------------	----------------	-------------	------------

7 ゴルフ場利用税交付金	6,941	7,770	△ 829	△ 10.7	0.0
---------------------	--------------	--------------	--------------	---------------	------------

8 自動車取得税交付金	80,163	54,865	25,298	46.1	0.2
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	156,426	162,251	△ 5,825	△ 3.6	0.5
10 地方特例交付金	47,337	49,147	△ 1,810	△ 3.7	0.1
11 地方交付税	5,621,496	5,406,547	214,949	4.0	15.9

【主な増減事由】

普通交付税	203,841	4.8
特別交付税	11,108	0.9
※ 臨時財政対策債	△ 33,800	△ 1.8
※ 実質的な交付税額	181,149	2.5

12 交通安全対策特 別交付金	11,887	11,047	840	7.6	0.0
13 分担金及び負担金	334,267	442,473	△ 108,206	△ 24.5	1.0

【主な増減事由】

(農業) 基盤整備促進事業費分担金	7,672	64.8
小規模治山事業費分担金	△ 2,246	△ 90.3
老人福祉施設入所費負担金	△ 1,604	△ 10.9
保育所保育料	△ 111,122	△ 27.4

14 使用料及び手数料	597,599	501,887	95,712	19.1	1.7
-------------	---------	---------	--------	------	-----

【主な増減事由】

保育所使用料	67,762	皆増
可燃ごみ処分手数料	9,125	5.7
引揚記念館入館料	7,519	42.1
西地区多機能施設使用料	3,652	皆増
赤れんが博物館入館料	3,151	27.8

15 国庫支出金	5,627,988	5,053,917	574,071	11.4	16.0
-----------------	-----------	-----------	---------	------	------

【主な増減事由】

社会資本整備総合交付金（住宅費）	274,121	687.4
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）	127,361	皆増
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）	104,370	皆増
障害者介護給付・訓練等給付費負担金	75,021	9.0
生活保護費負担金	74,880	5.5
子ども・子育て支援交付金	62,964	皆増
個人番号カード交付事業費補助金	25,288	皆増
臨時福祉給付金給付事業費補助金	△ 90,010	△ 51.1
学校施設環境改善交付金	△ 76,234	皆減
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金	△ 70,917	△ 67.4
がんばる地域交付金	△ 59,469	皆減
保育緊急確保事業費補助金	△ 31,813	皆減

16 府支出金	2,928,116	2,933,625	△ 5,509	△ 0.2	8.3
----------------	-----------	-----------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

原子力災害対策施設等緊急整備事業費補助金	109,525	皆増
多面的機能支払交付金	43,594	皆増
基盤整備促進事業費補助金	35,440	63.5
子ども・子育て支援交付金	32,397	皆増
第3子以降保育料無償化事業費補助金	24,589	皆増
消費喚起・生活支援事業（市町村協同型）交付金	22,901	皆増
25年災害復旧費補助金	△ 64,527	△ 92.0
京都府北部福祉人材養成システム推進事業補助金	△ 50,000	皆減
避難施設等緊急時電力確保促進事業補助金	△ 35,246	△ 63.7
子育て支援特別対策事業費補助金	△ 31,176	皆減
選挙費委託金	△ 43,959	△ 63.8
のびのび育つ子ども応援事業費補助金	△ 14,478	△ 34.9
保育対策等促進事業費補助金	△ 47,303	皆減

17 財産収入	112,372	118,079	△ 5,707	△ 4.8	0.3
----------------	---------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

基金等積立金利子	△ 4,742	△ 20.9
----------	---------	--------

18 寄附金	11,332	13,582	△ 2,250	△ 16.6	0.0
---------------	--------	--------	---------	--------	-----

【主な増減事由】

ふるさと応援寄付金	△ 8,776	△ 73.2
社会福祉費寄附金	4,526	285.0

19 繰入金	200,879	2,224,474	△ 2,023,595	△ 91.0	0.6
--------	---------	-----------	-------------	--------	-----

【主な増減事由】

財政調整積立金繰入金	△ 941,600	皆減
地域の元気臨時交付金基金繰入金	△ 519,538	皆減
都市開発推進基金繰入金	△ 420,000	皆減
減債基金繰入金	△ 199,421	△ 99.7
職員退職基金繰入金	△ 100,000	皆減
電源立地地域対策基金繰入金	121,171	皆増

20 繰越金	285,203	596,466	△ 311,263	△ 52.2	0.8
--------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

現年度	△ 191,489	△ 64.9
繰越明許費	△ 119,774	△ 39.7

21 諸収入	1,199,749	1,254,026	△ 54,277	△ 4.3	3.4
--------	-----------	-----------	----------	-------	-----

【主な増減事由】

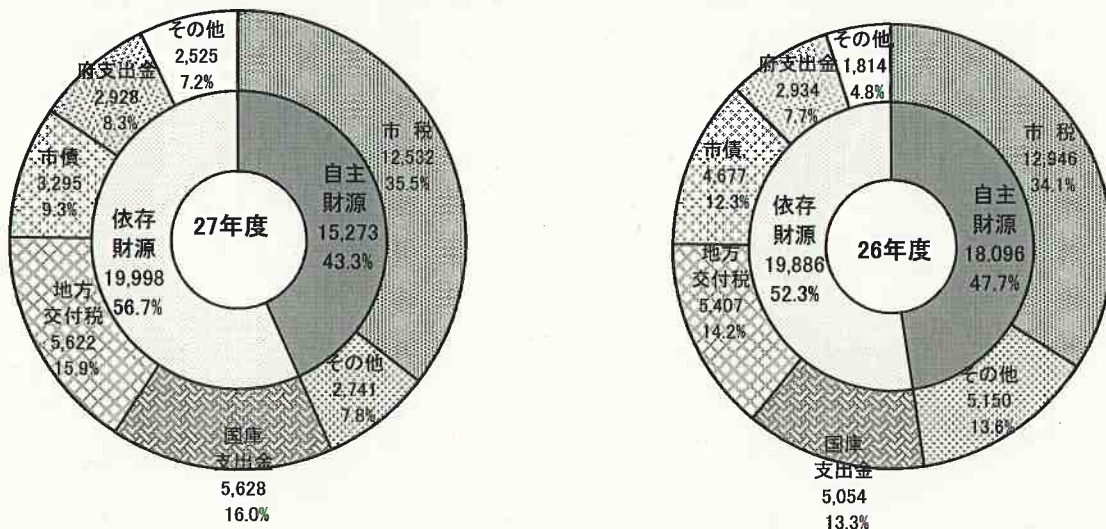
中小企業資金融資制度貸付金収入	18,000	2.7
後期高齢者医療療養給付費負担金返還金	△ 22,795	△ 31.0
水洗便所等改造資金貸付金元利収入	△ 15,211	△ 23.3
消防団員退職報償金受入金	△ 12,039	△ 40.0
金属類成形品及びカレット等売却代金	△ 11,818	△ 36.2

22 市債	3,295,046	4,677,152	△ 1,382,106	△ 29.6	9.4
-------	-----------	-----------	-------------	--------	-----

【主な増減事由】

建設地方債	△ 1,348,306	△ 48.3
臨時財政対策債	△ 33,800	△ 1.8

歳入構成(自主財源・依存財源別) (単位:百万円)



(3) 歳出(目的別)の決算状況

科目	平成27年度 決算額 A 千円	平成26年度 決算額 B 千円	差引 C=A-B 千円	増減率 C/B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-------------------	-----------------	-----------------

歳出総額	34,882,816	37,697,135	△ 2,814,319	△ 7.5	
-------------	------------	------------	-------------	-------	--

歳出(目的別)においては、土木費の三宅団地の公営住宅建替事業費や、商工費の地域住民生活等緊急支援商品券発行事業費などによりそれぞれ増加となりましたが、総務費で総合文化会館整備等文化施設整備事業費や退職手当等による職員給与費、民生費で公立保育所統合整備や子育て交流施設整備事業費、労働費で勤労者福祉センターの移転整備、消防費で高機能消防司令システム更新整備事業費、教育費で三笠小学校の大規模改造や文化公園体育館整備事業費など、26年度に実施した大型事業の影響によりそれぞれ大幅な減少となりました。

この結果、歳出総額では、前年度比で28億1,432万円の減となりました。

議会費	371,791	349,978	21,813	6.2	1.1
------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

地方議会議員共済会給付等負担金	18,902	25.0
議員報酬等経費	4,503	2.4
政務活動費補助金	1,037	19.3
情報化推進事業費	△ 3,324	皆減

総務費	4,454,865	5,405,080	△ 950,215	△ 17.6	12.8
------------	-----------	-----------	-----------	--------	------

【主な増減事由】

引揚記念館整備事業費	328,835	1,050.4
地方創生先行型推進事業費	74,425	皆増
歴史遺産を活かした地域づくり事業費(地方創生先行型)	36,565	皆増
個人番号カード関連事務交付金	24,395	皆増
国勢調査経費	35,465	皆増
職員給与費(総務管理費)	△ 292,146	△ 14.4
財産管理経費	△ 232,675	△ 87.2
庁舎改修事業費	△ 108,776	△ 70.6
財政調整積立金	△ 97,000	△ 61.8
文化施設整備事業費	△ 372,891	△ 75.4
海フェスタ京都開催事業費	△ 41,601	皆減
選挙執行経費(府議会議員選挙ほか)	△ 139,403	△ 84.7

民生費	12,321,785	13,543,968	△ 1,222,183	△ 9.0	35.3
------------	------------	------------	-------------	-------	------

【主な増減事由】

国民健康保険事業会計繰出金	82,400	13.1
障害児通所給付費	44,943	138.0
障害者自立支援医療給付費	47,392	59.5
保育委託事業費	133,989	12.2
臨時福祉給付金給付事業費	△ 94,076	△ 50.6
私立保育園施設整備事業費補助金	△ 35,493	皆減
子育て世帯臨時特例給付金	△ 72,426	△ 65.0
児童手当給付費	△ 38,117	△ 3.0
子育て交流施設整備事業費	△ 631,769	△ 91.4
公立保育所統合整備事業費	△ 466,238	皆減
生活保護費(扶助費)	△ 26,237	△ 1.4

衛生費	3,352,419	3,255,488	96,931	3.0	9.6
------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

がん検診事業費	15,713	25.8
ごみ減量化推進事業費	9,403	11.4
施設改修事業費(清掃事務所)	21,543	8.8
し尿処理施設改築事業費	315,444	176.9
簡易水道事業会計繰出金	9,474	12.3
舞鶴市休日急病診療所整備事業費	35,395	59.8
働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費	△ 13,923	皆減
施設整備事業費(斎場)	△ 16,296	△ 63.2
病院事業会計補助金	△ 282,921	△ 53.7

労働費	58,837	200,035	△ 141,198	△ 70.6	0.2
------------	--------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

勤労者福祉センター等移転整備事業費	△ 108,436	皆減
緊急雇用創出事業費	△ 13,287	△ 85.2

農林水産業費	934,442	879,167	55,275	6.3	2.7
---------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

加佐地区農業・農村活性化戦略事業費	9,979	皆増
万願寺甘とう振興事業費	13,963	77.7
基盤整備促進事業費	54,316	67.6
多面的機能支払事業費	51,793	341.3
有害鳥獣被害防止対策事業費	13,328	33.9
舞鶴漁港整備事業費負担金	12,000	200.0
自然休養村管理センター建物等除却事業費	△ 25,469	皆減

青年就農給付金	△ 14,250	△ 67.9
農村復興地域づくり支援事業費補助金	△ 20,323	△ 74.7
被災担い手農家等経営再建支援事業費補助金	△ 9,994	皆減
中丹地域有害鳥獣処理施設整備事業費負担金	△ 38,184	皆減
漁港施設長寿命化事業費	△ 14,609	△ 16.8

商工費	1,512,400	1,408,753	103,647	7.4	4.3
------------	-----------	-----------	---------	-----	-----

【主な増減事由】

地域住民生活等緊急支援商品券発行事業費	145,278	皆増
中小企業融資制度貸付金	18,000	2.7
国際交流活動推進費	10,877	94.5
舞鶴赤れんがパークブランディング事業費	△ 20,187	△ 38.9
企業誘致実現プロジェクト事業費	△ 9,714	△ 19.3
中小企業災害復旧事業費補助金	△ 4,446	皆減
東地区中心市街地複合施設管理運営経費	△ 4,372	△ 38.5
京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費	△ 6,460	△ 35.3
京都舞鶴港振興会等補助金	△ 2,024	△ 1.6

土木費	4,295,554	3,881,202	414,352	10.7	12.3
------------	-----------	-----------	---------	------	------

【主な増減事由】

幹線道路整備事業費	30,300	10.9
防衛施設周辺整備事業費	35,200	126.6
橋りょう長寿命化事業費	57,700	127.7
公園緑地整備事業費	28,293	52.0
公営住宅建替事業費	545,252	811.4
道路舗装修繕事業費	△ 22,456	△ 44.4
道路施設修繕事業費	△ 45,923	△ 35.2
道路除雪対策事業費	△ 30,142	△ 35.0
交通安全推進事業費	△ 29,474	△ 26.1
通学路等安全道路整備事業費	△ 20,211	皆減
地域間連絡道路整備事業費	△ 36,100	△ 22.1
地域内道路整備事業費	△ 22,900	△ 19.8
高潮対策事業費	△ 21,100	△ 49.1
河川整備事業費	△ 20,409	△ 17.6

消防費	1,478,080	1,793,212	△ 315,132	△ 17.6	4.2
------------	-----------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

職員給与費	30,387	2.7
消防団員退職報償金	△ 12,039	△ 40.0
高機能消防指令システム更新整備事業費	△ 298,182	皆減
消防救急無線デジタル化事業費	△ 31,580	△ 46.4

教育費	2,680,931	3,215,552	△ 534,621	△ 16.6	7.7
------------	-----------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

教科書改訂等経費（小学校費）	38,942	1,090.8		
校舎等増改築事業費（小学校費）	69,892	1,527.4		
原子力災害対策施設緊急整備事業費（小学校費）	6,372	皆増		
学校給食運営経費（中学校費）	15,099	10.1		
夢チャレンジサポート事業費（中学校費）	12,719	155.8		
第3子以降保育料無償化事業費補助金	8,651	皆増		
社会教育施設整備事業費	16,910	皆増		
原子力災害対策施設緊急整備事業費（公民館費）	104,131	皆増		
職員給与費（事務局費）	△ 49,365	△ 16.6		
校舎等改修事業費（小学校費）	△ 384,389	△ 99.8		
施設整備事業費（中学校費）	△ 22,092	△ 45.3		
校舎等改修事業費（中学校費）	△ 70,766	△ 94.5		
緊急時電力確保設備整備事業費	△ 17,354	△ 54.2		
体育館施設整備事業費	△ 227,078	△ 98.6		

公債費	3,404,935	3,575,289	△ 170,354	△ 4.8	9.8
------------	-----------	-----------	-----------	-------	-----

【主な増減事由】

建設地方債	△ 94,675	△ 3.7		
その他	△ 75,679	△ 7.3		

災害復旧費	16,777	189,411	△ 172,634	△ 91.1	0.0
--------------	--------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

農林水産施設災害復旧費	△ 92,565	△ 90.4		
公共土木施設災害復旧費	△ 80,069	△ 92.0		

(4) 歳出(性質別)の状況

科目	平成27年度 決算額 A 千円	平成26年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C/B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------	-----------------

歳出(性質別)では、普通建設事業費において、26年度に実施した子育て交流施設や公立保育所統合整備、総合文化会館の改修整備による文化施設整備、高機能消防指令システムの更新整備、文化公園体育館の施設整備等の大型事業がそれぞれ減となったことにより前年度比で18億4,451万円の減少となっています。このほか、扶助費では臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の減等により、補助費では、病院事業会計への補助金や過年度国庫負担金等の精算返還金などで減。一方、人件費では退職手当が減となったものの、新たな任用制度による一般職非常勤職員の任用に伴い、当該賃金が物件費から人件費に移行したことにより、また、繰出金では国民健康保険事業会計や介護保険事業会計などへの繰出金の増によりそれぞれ増加となりました。

義務的経費	18,113,355	18,258,249	△ 144,894	△ 0.8	51.9
-------	------------	------------	-----------	-------	------

人件費	6,722,170	6,499,601	222,569	3.4	19.3
-----	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

退職手当	△ 295,316	△ 36.3
職員給(一般)	△ 4,982	△ 0.1
一般職非常勤職員報酬	428,800	皆増

扶助費	7,986,250	8,183,359	△ 197,109	△ 2.4	22.9
-----	-----------	-----------	-----------	-------	------

【主な増減事由】

障害者自立支援医療給付費	47,379	59.6
保育委託事業費(私立)	133,989	12.2
臨時福祉給付金給付事業費	△ 89,426	△ 51.0
子育て世帯臨時特例給付金	△ 70,647	△ 67.3
児童手当給付費	△ 38,590	△ 3.1
保育所管理運営経費	△ 99,140	△ 70.0

公債費	3,404,935	3,575,289	△ 170,354	△ 4.8	9.7
-----	-----------	-----------	-----------	-------	-----

【主な増減事由】

元金	△ 135,141	△ 4.2
利子	△ 35,213	△ 9.1

その他	12,280,935	12,933,219	△ 652,284	△ 5.0	35.3
物件費	4,417,686	4,672,846	△ 255,160	△ 5.5	12.7

【主な増減事由】

歴史資産を活かした地域づくり事業費（地方創生先行型）	32,095	皆増
（小学校費）教科書改訂等経費	38,942	1,090.8
（総務費）一般管理事務経費	△ 67,783	△ 47.3
情報システム管理経費	△ 20,937	△ 14.1
選挙執行経費（府議会議員選挙ほか）	△ 67,802	△ 85.1
働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費	△ 13,923	皆減
清掃事務所施設管理運営経費	△ 15,932	△ 7.0
（小学校費）学校給食運営経費	△ 31,571	△ 13.6
公民館管理運営経費	△ 28,118	△ 28.5

維持補修費	221,843	220,052	1,791	0.8	0.6
-------	---------	---------	-------	-----	-----

補助費等	2,297,652	2,745,026	△ 447,374	△ 16.3	6.6
------	-----------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

地域住民生活等緊急支援商品券発行事業費	125,196	皆増
海フェスタ京都開催事業費	△ 30,000	皆減
過年度税外収入還付金	△ 185,215	△ 85.4
延長保育促進事業費補助金	△ 50,132	△ 90.2
病院事業会計補助金（病院分・診療所分）	△ 282,921	△ 53.7

積立金	91,359	196,170	△ 104,811	△ 53.4	0.3
-----	--------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

ふるさと応援基金積立金	△ 8,751	△ 72.7
財政調整積立金	△ 97,000	△ 61.8

出資金・貸付金	762,152	741,102	21,050	2.8	2.2
----------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

介護人材確保支援事業費		10,650	53.7
中小企業融資制度貸付金		18,000	2.7
舞鶴市地域医療確保奨学金等貸付金		△ 7,800	△ 41.9

繰出金	4,490,243	4,358,023	132,220	3.0	12.9
------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

国民健康保険事業会計繰出金		82,400	13.1
後期高齢者医療療養給付費負担金		21,888	2.6
介護保険事業会計繰出金		33,068	2.9
後期高齢者医療事業会計繰出金		3,010	1.2
下水道事業会計繰出金		△ 17,620	△ 1.2

投資的経費	4,488,526	6,505,667	△ 2,017,141	△ 31.0	12.8
--------------	-----------	-----------	-------------	--------	------

普通建設事業費	4,471,749	6,316,256	△ 1,844,507	△ 29.2	12.8
----------------	-----------	-----------	-------------	--------	------

【主な増減事由】

引揚記念館整備事業費		329,074	1,059.3
公営住宅建替事業費		545,252	811.4
文化施設整備事業費		△ 372,891	△ 75.4
子育て交流施設整備事業費		△ 631,324	△ 91.4
公立保育所統合整備事業費		△ 464,660	皆減
高機能消防指令システム更新整備事業費		△ 298,182	皆減
(小学校費) 校舎等改修事業費		△ 384,389	△ 99.8

災害復旧事業費	16,777	189,411	△ 172,634	△ 91.1	0.0
----------------	--------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

林業施設災害復旧事業費		△ 50,892	皆減
道路橋りょう災害復旧事業費		△ 54,483	△ 88.7

② 基金残高の状況

一般会計では、財政調整積立金が6,000万円の増、電源立地地域対策基金が1億2,096万円の減、市民福祉ささえあい基金が2,825万円の減、ふるさと応援基金が1,671万円の減などにより、1億752万円の減となり、特別会計では、介護保険介護給付費準備基金が2億8,678万円の増、国民健康保険事業基金が3,241万円の減、下水道基金が3,208万円の減などにより、1億9,239万円の増となり、全会計では、8,487万円の増となりました。

	平成26年度末	積立	取崩	平成27年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	9,585,691	91,358	198,879	9,478,170
財政調整積立金	3,418,198	60,000	0	3,478,198
減債基金	875,566	2,000	579	876,987
職員退職手当基金	926,000	3,000	0	929,000
その他	4,365,927	26,358	198,300	4,193,985
特別会計	3,776,935	303,597	111,205	3,969,327
計	13,362,626	394,955	310,084	13,447,497

③ 市債残高の状況

一般会計では、建設地方債が5億8,713万円の減となる一方、臨時財政対策債など交付税振替分の市債は10億1,544万円の増となり、全体では4億2,831万円の増となりました。また、特別会計では、簡易水道事業債が2億1,960万円の増、下水道事業債が1億357万円の増により、3億2,317万円の増に、企業会計では、水道事業債が1億2,027万円の増、病院事業債が2億3,708万円の減になったことにより、あわせて1億1,681万円の減となりましたことから、全会計で6億3,467万円の増となりました。

	平成26年度末	償還	借入	平成27年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	35,473,646	3,051,714	3,295,046	35,901,954 (※ 184,976)
建設地方債	20,524,015	2,217,747	1,445,646	19,936,890 (※ 184,976)
臨時財政対策債等	14,949,631	833,967	1,849,400	15,965,064
特別会計	30,666,027	1,727,969	2,051,140	30,989,198
企業会計	6,523,516 (※ 200,614)	324,835 (※ 15,638)	393,000	6,406,705
計	72,663,189	5,104,518	5,739,186	73,297,857

※ うち、旧舞鶴市民病院資産にかかる現在高（27年度末に一般会計に移管）

3 特別会計の決算状況

① 国民健康保険事業会計

		平成27年度	平成26年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成25年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	10,536,844	9,261,018	1,275,826	13.8	9,355,241
歳出総額	b	10,487,388	9,129,704	1,357,684	14.9	9,208,984
歳入歳出差引	c = a - b	49,456	131,314	△ 81,858	△ 62.3	146,257
翌年度に繰り越すべき財源	d	-	-	-	-	-
実質収支	e = c - d	49,456	131,314	△ 81,858	△ 62.3	146,257

国民健康保険事業においては、高齢者を中心に医療費が年々増加傾向にある中、一般分保険給付費の増加に伴う国庫支出金の増額や、保険料負担軽減のための基金繰入金、一般会計繰入金が増額となる一方、退職分保険給付費の減少などに伴う療養給付費交付金の減額などにより、平成27年度の歳入は、総額で10,536,844千円、また歳出は、退職分保険給付費が減少したことなどにより総額で10,487,388千円となり、歳入歳出差引は49,456千円の黒字となりました。しかしながら、前年度からの繰越金131,314千円を除いた単年度収支では81,858千円の赤字となっております。

② 簡易水道事業会計

		平成27年度	平成26年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成25年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	735,127	648,871	86,256	13.3	594,791
歳出総額	b	719,240	639,863	79,377	12.4	580,114
歳入歳出差引	c = a - b	15,887	9,008	6,879	76.4	14,677
翌年度に繰り越すべき財源	d	2,487	1,350	1,137	84.2	-
実質収支	e = c - d	13,400	7,658	5,742	75.0	14,677

本市では、全ての簡易水道を上水道に統合するため「舞鶴市簡易水道統合計画」に基づき、統合に必要な施設整備を進めております。平成27年度は、平成26年度に引き続き、池内・四所・東大浦地域で配水池や配水管等の整備を、小原地区で水道未普及地域解消事業を、瀬崎地区で水質改善事業を実施し、また、統合後に各施設を上福井浄水場から遠隔監視するための装置を設置しました。この結果、四所地区の上水道統合が完了しました。

平成27年度決算における歳入歳出差引は、前年度に比べ6,879千円、76.4%増の15,887千円となりました。

③ 土地建物造成事業会計

	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	37,901	38,464	△ 563	△ 1.5	38,285
歳出総額 b	2,837	3,808	△ 971	△ 25.5	4,078
歳入歳出差引 c = a - b	35,064	34,656	408	1.2	34,207
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	35,064	34,656	408	1.2	34,207

土地建物造成事業会計は、宅地造成や公共用地の先行取得を目的として設置したものであり、土地開発基金や土地貸付などの運用を行っています。
27年度決算につきましては、歳入は、本会計で管理している土地の貸付料377千円、土地開発基金の利子2,708千円、前年度からの繰越金34,656千円等で、総額は37,901千円となり、歳出は、土地開発基金利子分の基金への繰出金2,708千円等で、総額は2,837千円となり、この結果、歳入歳出差引は35,064千円の黒字となりました。

④ 貯木事業会計

	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	199	475	△ 276	△ 58.1	6,640
歳出総額 b	199	475	△ 276	△ 58.1	6,635
歳入歳出差引 c = a - b	0	0	0	0.0	5
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	0	0	0	0.0	5

貯木事業会計は、平地区の海域で舞鶴市が管理・運営を行っております舞鶴市貯木場に係るものですが、当貯木場は、平成17年7月より使用を休止しており、今後の利用計画が決定するまでの間、必要最小限の施設の維持管理を行っています。

27年度決算につきましては、歳入は、排水設備設置に係る行政財産使用料、施設整備費積立金利子等であり、歳入合計は199千円、前年度に比べ276千円の減となりました。

また、歳出は、貯木場施設の整備に係る積立金等であり、歳出合計は199千円、前年度に比べ276千円の減となりました。

⑤ 下水道事業会計

		平成27年度	平成26年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成25年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	4,888,143	4,610,776	277,367	6.0	4,524,631
歳出総額	b	4,882,593	4,608,320	274,273	6.0	4,514,093
歳入歳出差引	c = a - b	5,550	2,456	3,094	126.0	10,538
翌年度に繰り越すべき財源	d	50	2,456	△ 2,406	△ 98.0	10,538
実質収支	e = c - d	5,500	0	5,500	皆増	0

下水道事業においては、公共下水道の処理区域の拡大や、これに伴う浄化センターの整備を進めるとともに、下水道施設の改築更新・長寿命化に取り組んでまいりました。この結果、平成27年度末の普及率は、前年度より0.7ポイント増の94.8%となりました。また、経営環境の変化に対応するため、地方公営企業法適用に着手しました。

施設の維持管理につきましては、施設の老朽化による事故の未然防止や安定した水処理を継続するため、下水道管の調査や対策を実施し、浄化センターでは良好な放流水質の維持や資源の再利用など、効率的で適正な運転管理に努めました。

平成27年度の決算においては、歳入歳出差引は5,550千円であり、翌年度繰越事業の財源を除く実質収支は5,500千円の黒字となりました。

⑥ 駐車場事業会計

		平成27年度	平成26年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成25年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	87,373	67,370	20,003	29.7	81,571
歳出総額	b	28,741	29,492	△ 751	△ 2.5	63,899
歳入歳出差引	c = a - b	58,632	37,878	20,754	54.8	17,672
翌年度に繰り越すべき財源	d	-	-	-	-	-
実質収支	e = c - d	58,632	37,878	20,754	54.8	17,672

駐車場事業においては、4駐車場すべての管理を市直営としております。

27年度決算につきましては、歳入は使用料及び26年度からの繰越金等であり、歳入総額は87,373千円で、前年度に比べ20,003千円の増。歳出は、駐車場施設に係る土地貸借料、管理委託費、修繕工事費等の施設管理費であり、歳出総額は28,741千円で、前年度に比べ751千円の減となりました。

この結果、歳入歳出差引は58,632千円の黒字となり、前年度からの繰越金を除く単年度収支は20,754千円の黒字となっています。

また、駐車場の利用状況は、27年度は前年度に比べて、駐車台数は5.9%の減、駐車場使用料は0.1%の減となっています。

⑦ 介護保険事業会計

(保険事業勘定)

	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	7,873,372	7,857,926	15,446	0.2	7,562,475
歳出総額 b	7,763,649	7,462,703	300,946	4.0	7,274,775
歳入歳出差引 c = a - b	109,723	395,223	△ 285,500	△ 72.2	287,700
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	1,334	△ 1,334	皆減	-
実質収支 e = c - d	109,723	393,889	△ 284,166	△ 72.1	287,700

平成27年度の介護保険事業・保険事業勘定におきましては、第6期介護保険事業計画（平成27～29年度の3ヶ年）に基づき、保険給付や地域支援事業等を実施しました。

要介護・要支援者の認定者数は、27年度末で4,833人となり、前年度末と比較して17人増加。また、サービス利用者数は、28年2月時点で4,139人となり、前年同期と比較して144人の増加となっており、保険給付費や、これに伴う国庫支出金等は、前年度に比べ概ね横ばいですが、前年度からの繰越金が増加したこと及び繰越金を介護給付費準備基金へ積み立てたことなどから、27年度決算では、歳入総額は7,873,372千円で、前年度に比べ15,446千円、0.2%の増、歳出総額では、7,763,649千円で、前年度に比べ300,946千円、4.0%の増となり、歳入歳出差引は109,723千円の黒字となりました。

(介護サービス事業勘定)

	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	7,657	7,414	243	3.3	6,962
歳出総額 b	5,887	5,759	128	2.2	5,058
歳入歳出差引 c = a - b	1,770	1,655	115	6.9	1,904
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	1,770	1,655	115	6.9	1,904

介護サービス事業勘定におきましては、城南地域包括支援センターにおいて実施しております介護サービス事業に関するもので、歳入総額では、介護予防支援費収入などで7,657千円、歳出総額はケアプランの作成業務などで5,887千円となっており、歳入歳出差引では1,770千円の黒字となっております。

⑧ 後期高齢者医療事業会計

	平成27年度	平成26年度	差 引	増減率	(参考)
	決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成25年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	1,110,325	1,120,049	△ 9,724	△ 0.9	1,111,769
歳出総額 b	1,103,940	1,114,686	△ 10,746	△ 1.0	1,110,934
歳入歳出差引 c = a - b	6,385	5,363	1,022	19.1	835
翌年度に繰り越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	6,385	5,363	1,022	19.1	835

後期高齢者医療事業につきましては、後期高齢者医療制度によって、市が徴収した保険料、一般会計からの繰入金などを受入れ、府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が主体となり市町村と役割分担をして運営しています。

具体的には、広域連合が、被保険者の認定や保険料の決定、保険給付の審査・支払等を行い、市では、保険料の徴収のほか、保険証の引き渡しや各種届出の受付などの窓口業務を行っています。

これに伴い、会計経理についても、歳入で保険料、一般会計からの繰入金等を受け入れ、歳出で職員給与費の事業運営費等を除いて、全て広域連合へ納付しております。

27年度決算における歳入歳出差引は6,385千円ですが、これは、出納整理期間中に納付された27年度の保険料であり、28年度に繰り越して広域連合へ納付します。

4 主要財政指標等の推移（平成23年度～27年度）

年度 項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
財政力指数	0.715	0.729	0.739	0.728	0.714

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額／基準財政需要額で得た数値を過去3ヶ年平均したものです。
この数値が1に近いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率（%）					
一般会計	84.3	90.3	88.1	96.1	93.5
普通会計	84.4	90.7	88.5	96.4	93.5

経常的一般財源（歳入：市税、譲与税、普通交付税等）に対する経常的経費（歳出：人件費、扶助費、公債費など容易に縮減が困難な経費）充当一般財源の割合です。その大きさによって財政の健全性、弾力性をみることのできる総合的な指数です。

27年度一般会計の経常収支比率につきましては、26年度に比べ、歳入で固定資産税等市税収入が約4.1億円、臨時財政対策債が約0.3億円の減となったものの、普通交付税で約2.0億円、地方消費税交付金が約6.8億の増となったことにより、経常的一般財源の額（分母）は、約4.6億円の増となりました。

一方、歳出では、経常経費充当一般財源の額（分子）が、人件費で新たな任用制度に伴い一般職非常勤職員の賃金が物件費から移行したことなどにより約2.7億円の増加となったものの、扶助費で約1.8億円、公債費で約1.6億円の減などにより、約1.1億円の減となり、この結果、経常収支比率は前年度比で2.6ポイントの改善となりました。

公債費負担比率（%）	14.7	14.2	14.1	14.4	14.3

一般財源総額に対する公債費に充当された一般財源の割合で、この率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示します。

公債費比率（%）	11.2	10.8	10.1	9.8	9.4

経常的一般財源に対する地方債にかかる元利償還に要する経費の割合です。

5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況

(単位：%)

健全化判断比率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—

一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、(一般会計等の赤字額) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど財政運営状況が深刻であると判断されます。

連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
----------	---	---	---	---	---

市の全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字の程度を指標化したもので、(全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど市全体の財政運営状況が深刻であると判断されます。

実質公債費比率	10.4	10.4	10.5	10.3	10.1
---------	------	------	------	------	------

標準財政規模に占める実質的な公債費(他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む)に費やした一般財源の割合を表す数値の過去3ヶ年平均値です。18%以上の団体は、地方債の発行に際し、都道府県知事の許可が必要となります。さらに、25%以上になると、財政健全化計画、35%以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられています。

将来負担比率	75.3	75.3	80.9	99.1	101.3
--------	------	------	------	------	-------

地方債や、他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など、将来支払っていく可能性のある負担等の年度末時点における残高(充当可能財源等を除く)の、標準財政規模に占める割合を指標化した数値です。この数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いと判断され、350%以上になると、財政健全化計画の策定が義務付けられています。

公営企業の資金不足比率

水道事業会計	—	—	—	—	—
病院事業会計	—	—	—	—	—
簡易水道事業会計	—	—	—	—	—
貯木事業会計	—	—	—	—	—
公設地方卸売市場事業会計	—	158.7	—	/	/
下水道事業会計	—	—	—	—	—

企業会計の資金不足(赤字)の程度を指標化したもので、(それぞれの企業会計の資金不足額) / (それぞれの企業会計の事業の規模) で求められる数値です。この数値が高いほど企業会計の財政運営状況が深刻であると判断されます。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字又は資金不足が発生した場合のみ算出されるもので、比率が算出されない場合は「—」と表示しています。